



10月26日(土)の土曜参観から始まった「学校へ行こう週間」では、多くの方に学校内の様子や学級の様子、子どもたちの様子をご覧いただきました。お忙しい中、どうもありがとうございました。

また、今月は、子どもたちが中心となって運営する「なかよしふれあいハイキング」が行われました。この活動は、他学年とのふれ合いを通して協力する態度を育てること、自分の役割を果たすことで自主的な態度を育てることが主なねらいです。当日は、6年生を中心に班の仲間を気づかい交流する様子が見られました。



みんなでくつ飛ばし



大縄とび

日々の学習を通して、そしてふれあいハイキングなどの活動を通してどんな力が身についたのかを振り返り、まとめの月である12月を迎えたいと思います。

第3回学校運営協議会

11月14日(木)に第3回学校運営協議会が開かれました。議題の内容は、学校教育にご協力いただける地域人材の把握をどのように行っていくか、学校評価の内容、放課後子ども教室の3点です。

まず、1点めの地域人材の把握ですが、二宮小学校区の方々に、どのようなことで学校教育にご協力いただけるかのアンケートを12月に行い、2月以降に集約・整理、そして次年度につなげていくこととしました。その中で、学校と地域がお互いにプラスとなるような関係を築くことが大切ではというご意見がありました。

2点めの学校評価については、12月上旬のアンケート実施に向けて、質問内容の確認を行いました。

3点めの放課後子ども教室ですが、地域の方が指導されている様子や子どもたちの遊んでいる様子を見学した上で、運営協議会としてこの教室に、今後どう関わっていくことができるのかを考えていくこととしました。

次回の学校運営協議会は2月28日(金)を予定しています。内容としては、学校評価アンケートの結果を分析すること、地域人材のアンケ

ート結果からどのように学校教育にご協力いただけるのか整理することの2点になります。

10月・11月の学習から

まずは、10月30日(水)に行われた音楽会。これは、1学期の運動会と同様、全校で取り組む大きな行事の一つです。演奏が終わった後に見せる子どもたちの「やり切った」という満足感、そして「できた」という自信、それらを見ると改めてこの行事の意義、そして子どもたちの成長が確認できます。また、演奏後はどの子の表情からも緊張から解放された安心感が見て取れます。この緊張感を乗り越えることも、子どもたちが成長する大切な要素になっているはずです。

今年度は土曜参観でリハーサルを行い、多くの方に見ていただきましたが、やはり本番の迫力は素晴らしいものでした。緊張感の漂った中で一生懸命に歌ったり合奏したりしている子どもたちの輝いている姿、素敵でした。



次に、11月6日(水)に行われた3年生の総合的な学習「豆腐づくり」について紹介します。これは、国語の「すがたをかえる大豆」から発展した学習で、私たちが毎日のように口にしている大豆についてより深く調べる学習の一つとして行ったものです。

この学習は、料理クラブでもお世話になっている「ヘルスメイト二宮」の方々にお手伝いいただき行いました。これも地域の方にご協力いただいている学習です。



子どもたちは、水にひたした大豆をミキサーにかける、それを鍋で熱する、布巾でこす、にがりを加えてかきまぜるなど、様々な作業を注意深く行いました。自分たちの手で作った豆腐、その味はやはり格別だったようです。

「すがたをかえる大豆」の中で大豆から豆腐を作る過程が説明されています。この学習を通して実感の伴った学びができたことでしょう。



1年生の生活「ようこそ二宮小学校へ」。毎年行っている交流会です。今年は、11月13日(水)と18日(月)に行われました。この交流会の中で、来年度二宮小学校に入学予定の幼稚園や保育園の子どもたちに学校の中を案内します。入学してから上級生にお世話になることが多かった1年生ですが、この日は年下の子をリードします。



手をつないで職員室にやってきました。緊張した表情の1年生です。しかし、この経験が成長につながるのですね。



自分たちが少し大きくなったことを感じる事ができたかな。

6年生の社会科の学習です。11月21日(木)に「戦時下の二宮を記録する会」の5名の方から、戦争中に二宮町で起きたこと、またその当時の暮らし、戦争中から戦後直後の二宮小学校での生活、さらには満州での暮らしなどについて学びました。また、26日(火)には、「二宮町遺族会」の6名の方から、戦争中から戦後にかけて非常に苦労して働き、生活を支えた方のお話について紙芝居を通して学びました。



二宮町でも機銃掃射があったことや、戦争中の二宮小学校での畑作業やじゃり運びの体験、終戦直後に教科書に墨をぬった体験など、終始真剣な表情で耳を傾けていました。

すでに、戦争中の人々の暮らしや学校生活などについて学習していましたが、実際に体験した方からお話を聞くことで、より深く、より実感をもって考えることができたと思います。

学校へ行こう週間でのアンケート

「学校へ行こう週間」では多くの方に来校いただき、アンケートで様々なご意見をいただきました。

まず、「運動会の開催を午前日程で」というご意見がありました。行事にはその学習を通して子どもたちにどんな力をつけさせるのかとい

うねらいがあります。そのねらいを達成するための準備や練習、種目等を考えると午前中の開催ではやはり難しく、午前中にするのであれば運動会のあり方自体を抜本的に見直す必要があります。いずれにしても、熱中症を心配されてのご意見のように思われます。ミストシャワー設置の要望もありましたので、そのことも含め、来年度は熱中症対策を再度考慮し、これまでと同じ日程で実施したいと考えています。

次に、音楽会での発表のし方についての問い合わせです。学年か学級ごとか、または2学級合同かについては、子どもたちの発達段階や合唱、合奏としての迫力や聞きごたえ等を考え決定しています。さらに、音楽会の鑑賞のし方や話の聞き方についてのご意見もありました。態度の大切さについてしっかり伝えていきます。

また、体育時の服装についての問い合わせもありました。「二宮小ガイド」で体操服のルールについて、「学年だより12月号」で冬の体育授業時の服装についてお知らせしています。

さらに、布の名札についての問い合わせもありました。今後、在庫の量を勘案しながら他のタイプのものに切り替える方向で検討していきます。

給食のメニューそのものやメニューの数、食材の数等に対するご意見もありました。こちらについては、給食献立会議の中で給食センターに伝えさせていただきます。

下校後の習い事についてですが、下校班でまとまって家まで帰ることをルールとしています。

放課後の自転車の乗り方についてのご心配です。12月19日(木)に全学年対象に自転車乗り方教室を行います。また、長期休みの前に交通事故に対する注意を呼びかけるとともに自転車の乗り方についても指導をしています。保護者の皆さまも安全な自転車の乗り方についてご指導くださるようお願いいたします。

図書通帳システムに関するご意見もありました。参考にさせていただきます。

貴重なご意見をお寄せいただいた皆さま、どうもありがとうございました。

あいさつの習慣化

登校時の見守り活動をされている地域のボランティアの方や旗振りの保護者の方から「子どもたちのあいさつが少ない」というご指摘をしばしばいただきます。あいさつの大切さを改めて伝えるとともに、習慣化できるよう粘り強く取り組んでいかなければとの思いを強くしています。ご家庭でもあいさつについてふれていただき、子どもたちに習慣として身につくようご指導いただければと思います。